



4/5

#lovelilyambassador 八ツ田善彦
先日桜が満開になったと思ったら、すでに葉桜がちらほらと見え始めています。時の進みは早いもので、そんな時の一瞬一瞬にユリの花で彩っていただきたい…そんな思いを込めて今日も元気に咲いています!!



4/9

#lovelilyambassador 久保寛史
4月に入り、沢山のユリが自分の出番を待っています。
作る人は変われど、伝えたい思いは変わらない。
沢山のの人に伝えていきたいですね!



4/10

#lovelilyambassador 池野博聡
農場にはいるんな蕾つぼみがあります
そんななかから収穫中のハウスで夕暮れ時、夕陽を浴びた蕾をみて明日の収穫の仕事をイメージしたりします
収穫のときユリのつぼみ見て咲くまでのカウントダウンをスタートさせた感覚になります
手に取ってくれた方が“0ゼロ”をカウントしてくれるかなって。



4/12

#lovelilyambassador 鳴床卓士
市場にいると何十万本もの花と携わりませんが、ユリにしても蕾で流通するため本当の花姿は担当以外には意外と知られていません。
職場の事務所や家に飾って、喧騒の中でも心のゆとりを。世間では桜の開花宣言に敏感ですが、他の花でも開花を愛する優しい気持ちを持ちましょう! ユリって咲くとこんなに綺麗なんです!



4/12

#lovelilyambassador 岸宏行
消費者の方は普段あまり見ることがないユリ。球根の状態などによって本来の姿と違った品質のものになる時がある。奇形花である。生産地では決して少なくはない奇形花。市場での価格は安くなる。生産にはリスクが伴っている。決して綺麗とは言えなくても、これはこれで趣があると思いませんか? 私は結構好きなんですけどね…。産地で生産を続けて貰うためにも、少しでもロスが出ないように協力してほしいです。



4/13

#lovelilyambassador 竹歳真理子
前を向いて生きて行く為に…人は、生きて行く為に…忘れていく…と言う能力を持っています。
ユリは、心が癒えるまで、寄り添い…1番花から頂花まで咲くにあたり…1番花から、一輪ずつ咲き、朽ちる…朽ちた花弁と共に…悲しみ、辛さを切り落とし…断ち切ってくれる。
私の希望の花…それが、ユリです



4/15

#lovelilyambassador 岡崎賢司
特別な色があるわけじゃなく、特別に花弁の数が多いわけでもなく、無花粉でもない普通のユリだが、お正月やお彼岸といった日本人にとって特別な日に必要とされる花、テッポウユリ、普通の日にもどうですか?



4/15

#lovelilyambassador 下條誇次郎
品種名「マニフィーク」
マニフィークは、ヒメサユリ(別名オトメユリ)を交配親にもつ希少な品種です。ヒメサユリは新潟、福島、山形の県境を中心とした山地などに自生する、日本固有種のユリであり、平地では開花期は5~6月と早く「姫早百合」とも表記されます。
マニフィークはその交配種ですが、美しさを受け継いだ自然な雰囲気のある品種です。
部屋に飾ると、甘い香りの中で初夏に山歩きをしている様な気分させてくれます。
季節感を表現できることは花材として大きな魅力です。



4/23

#lovelilyambassador 馬場宏紀
もうすぐ「母の日」ですね。日頃の感謝を込めてこんなユリを贈るのもナイスですね。初夏を感じるグリーンが他の花との相性も良さそう。お母さんの喜ぶ顔が浮かんできそうじゃありませんか。



4/24

#lovelilyambassador 山下和宏
蕾の色からは想像できないほど艶やかな赤のユリ(リパッソ)咲かせる楽しみがあることを再確認しました。

Lovelily
www.lily-promotion.jp
Ambassador

April

Post on Facebook page

